

モニタリング結果報告書
(令和6年度)

1. 施設概要

施設名	(三崎漁港) 宮川特別泊地、宮川一時停係泊特別泊地及び宮川環境整備施設		
所在地	神奈川県三浦市三崎町六合地先		
サイトURL	http://miura-miyagawa.com/		
根拠条例	神奈川県漁港管理条例		
設置目的(設置時期)	三崎漁港におけるプレジャーボートの利用増加に対応するため、漁港内に混在するプレジャーボートと漁船を分離・集約し、漁港の多目的利用を推進するため、停係泊施設、駐車場及び管理棟等を設置する。(平成13年10月供用開始)		
指定管理者名	みうら漁業協同組合		
指定期間	R3.4.1 ～ R8.3.31 (2021年) (2026年)	施設所管課 (事務所)	水産課 (東部漁港事務所)

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
利用状況はS評価、利用者の満足度はA評価、収支状況はS評価で、3項目評価はS評価となり、適正に業務が行われていたと認められる。施設の利用者数は年々減少傾向ではあるものの、目標値を大幅に上回っており、引き続き業務の適切な運営に努め、経費の節減や施設の利用促進を図る努力も継続していただきたい。
＜各項目の詳細説明＞ ◆管理運営等の状況 事業計画に基づいて、施設の維持管理、受付、案内、巡視、清掃、保守点検及び利用料金の徴収業務が適正に行われたと認められる。 ◆利用状況 目標値を上回りS評価となった。当施設の利用者数はコロナ禍での急増を経て、近年減少傾向ではあるものの目標値を大幅に上回っており、施設の利用促進に向けて努力していた。 ◆利用者の満足度 簡易アンケートを通年実施、詳細アンケートを1月に実施し、回答者の9割近くが満足もしくはどちらかといえば満足と回答しているが、A評価となった。回答率は半分以下であったため、特に駐車場利用者の回答率が向上する工夫を検討されたい。 ◆収支状況 前年度、前々年度よりは減少したものの、駐車場の利用料金収入が計画よりも上振れており、収支比率が105%を超え、S評価となった。今後も引き続き経費の節減や利用促進の取り組みに努められたい。 ◆苦情・要望等 指定管理者に責のある苦情・要望等は無く、施設改修等に関する要望についても県と適切に情報共有を図っており評価できる。 ◆事故・不祥事等 指定管理者に起因する事故・不祥事等は一切無く、今後も良好な維持運営を継続されたい。 ◆労働環境の確保に係る取組状況 指摘・指導事項は皆無であった。 ◆その他 令和6年度の3項目評価はSとなった。今後も引き続き適正な管理運営に努めるとともに、施設利用者の増を図っていただきたい。

3. 3項目評価の結果

3項目評価	利用状況 (項目6参照)	利用者の満足度 (項目7参照)	収支状況 (項目8参照)	3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう。
S	S	A	S	S:極めて良好 A:良好 B:一部改善が必要 C:抜本的な改善が必要

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	なし
現地調査等 の実施状況	実施頻度	現地調査等の内容
	週1回以上不定期に現場 確認	オーナーバースの新規入艇・退艇の確認や定期パト ロールを実施し、適切に指定管理業務が履行されて いることを確認した。
意見交換等 の実施状況	実施頻度	意見交換等の内容
	現地調査時に口頭で確認	管理運営上の諸課題（構内放送用スピーカー、ポー ル、駐車場転落防止柵の修繕、収支決算報告の記載 方法）等について意見交換し、補修・改善を図っ た。
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無	有・無	指導・改善勧告等の内容
		なし

5. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
○年度協定書の事業計画において、施設の維持管理に関する業務、施設の運営に関する業務及び利用料金の徴収に関する業務に関して、それぞれ具体的な業務内容や作業頻度が提案されている。	○各業務とも提案のあった作業内容及び作業頻度は満たされており、指定管理業務は適切に実施されていた。 ○施設管理運営状況及び清掃状況について、利用者から89.2%の満足の評価が得られた。	○引き続き適切な運営が望まれる。
○維持運営に関する業務 安全航行に関する規定、気象や海洋情報を利用者が出港する前に確認できるよう情報提供する。	○施設利用に関する規定をはじめ、気象、海洋情報を見やすい場所に掲示しており、悪天候の場合は利用者に連絡し周知に努めていた。 ○漁業活動への支障が生じないように、漁港内は漁船が優先であることを利用者に指導し、施設利用にあたってのトラブル防止を図っていた。	○提案どおり適切に行われていた。

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
※小型船舶検査立会代行、艇管理代行、船底清掃 ※プレジャーボート責任保険（日本漁船保険組合）の取次	※艇の小型船舶検査受験を所有者に代わって立会い（1隻）、遠地居住者の艇管理代行（1隻）、船底清掃（4隻）を行った。 ※特別泊地利用者の約6割からプレジャーボート責任保険の加入取次ぎを行った。
※給水、給油、海産・農産物販売	※特別泊地利用者への給水、給油のサービスを周年提供したが実績はなかった。また、海産・農産物の販売実績もなかった。 ※給水、給油のサービスは毎年利用者がほとんどない。今後は利用者に対し、積極的に声掛けを行っていただきたいと考えている。また、海産・農産物は生産者からの委託により販売しているものであり、今年度は委託の依頼がなかった。今後は生産者へ委託を促し、海産・農産物の販売を行っていただきたいと考えている。
※（財）日本海洋レジャー安全協会・振興協会（BAN）会員加入への斡旋	※救助艇がないことからBAN会員への加入斡旋は強く呼びかけているが約4割の加入率である。

6. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上　A：100%以上～110%未満　B：85%以上～100%未満　C：85%未満 ※施設の特性から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性自立支援施設と県営住宅等が該当）。
S	

	前々年度	前年度	令和6年度
利用者数※	10,480	9,199	9,179
対前年度比		87.8%	99.8%
目標値	6,841	6,842	6,842
目標達成率	153.2%	134.4%	134.2%

目標値の設定根拠：	泊地：提案時の事業計画書の年度目標 駐車場：提案時の事業計画書の年度目標
利用者数の算出方法（対象）：	泊地：一時停係泊特別泊地利用届出書から算出 駐車場：有人による利用料金の徴収実績による

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

泊地利用隻数
駐車場利用台数

＜備考＞
利用者数を泊地利用隻数と駐車場利用台数の合計とした理由：来訪する船舶や自動車等に何人乗船、乗車しているかを把握することは難しいため、利用者数の代わりに泊地利用隻数と駐車場利用台数の合計を用いることとした。

7. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上　A：70%以上～90%未満　B：50%以上～70%未満　C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う。
A	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	※簡易アンケート：管理施設の窓口で常時用紙を備えて利用者に記入していただくなど、間便な方法で随時実施 ※詳細アンケート：アンケート用紙を利用者に一斉に送付し、回収・分析するなど、詳細な内容で定期的に実施	※簡易アンケートは、年間を通して施設管理棟及び駐車場の窓口にてアンケート用紙を用意して記入をお願いしたが、回答が得られなかった。 ※詳細アンケートは、1月下旬に郵送により施設利用者83名にアンケート用紙を送付し、37通の回答を得た。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容	施設の管理、運営について（利用者への対応＋施設、整備の状況＋総合） （とてもよい、よい、やや悪い、悪い）					
実施した調査の配布方法	郵送	回収数／配布数	37	／	83	= 44.6%
配布(サンプル)対象	宮川特別泊地利用者					

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答が あった場合はその理由
サービス内容の総合 的評価の回答数	12	21	4	0	37	※「管理棟前のウッド デッキを復旧して欲しい」 ※「栈橋に給電、水道を 設置して欲しい」 →設備や台風被害の未補 修部分に対して若干の不 満があるのではないかと 推察される。 ※「駐車場を値下げして 欲しい」 →停係泊料を支払ってい るのにさらに駐車場の利 用料を徴収されることへ の不満ではないかと推察 される。
回答率	32.4%	56.8%	10.8%	0.0%		
前年度の 回答数	7	27	4	1	39	
前年度回答率	17.9%	69.2%	10.3%	2.6%		
回答率の 対前年度比	181%	82.0%	105.4%	0.0%		

（複数回実施した場合は、平均値を記載。）

<備 考>

8. 収支状況

評価	《評価の目安：収支差額の当初予算額が0円の施設》 収入合計／支出合計の比率が、S(優良)：105%以上　A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満　C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
S	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	10,453	5,609			16,062	16,062	0	
	決算	10,453	8,162			18,615	13,817	4,798	134.73%
前年度	当初予算	10,453	5,609			16,062	16,062	0	
	決算	10,453	7,223			17,676	13,823	3,853	127.87%
令和6年度	当初予算	10,453	5,609			16,062	16,062	0	
	決算	10,453	7,243			17,696	15,277	2,419	115.83%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数					(単位:千円)
令和6年度 /		前年度 /		前々年度 /	

＜備 考＞

9. 苦情・要望等 ☒ 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備		件		
		件		
職員対応		件		
		件		
事業内容		件		
		件		
その他		件		
		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 ☒ 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。